Claude Code講座の練習として作った提案です。
クラウドワークスアカデミーの「Claude Code講座【初級】」の課題として、受講生の私が作りました。クラウドワークスアカデミー（株式会社クラウドワークス）の公式の資料ではなく、ここに書いた改善案が実際に採用されたものでもありません。ほかの講座の名前は伏せています。

【練習】Claude Code講座【初級】の講座ページを良くする提案（サンプル）

受講生の立場から、ページで伝わっていないことを埋めるお手伝い

2026年11月作成　北緯４８度（Claude Code講座【初級】受講生・講座でのニックネーム）

この資料で伝えたいこと

- 申し込みの決め手の多くは、今は紹介講座で伝わっています
- 時間・費用の目安やサポートの中身をページにも載せると、紹介講座に出ていない方にも届きます
- そのための材料集めと文案づくりを、受講生の私がお手伝いできます（提案1〜5）

1 今のサイトで分かったこと

講座ページ（2026年11月13日に確認）と、受講生（私）が申し込むまでの体験を見比べました。

受講生は「紹介講座」で申し込みを決めていた

- 決め手は ①全部動画なので、日本と時差のある海外からでも空いた時間に見られる ②紹介講座での講師のお話、の2つでした。
- 不安は「AIに慣れていない自分にできるか」「毎週の課題についていけるか」。サポートの中身は、申し込み後のガイダンスで知りました。
- つまり、**決め手の多くは、今は紹介講座で伝わっています。**同じことをページにも載せると、紹介講座に出ていない方にも届けられると考えています。

申し込む前に知りたいこと と ページの今

知りたいこと	ページ	今の書き方
値段	○	39,600円（税込）。同じような講座の中では受けやすい価格
未経験でもついていけるか	○	「非エンジニア向け」「コードは不要」がよく伝わっている
受講後に何ができるか	○	ポートフォリオサイト・note記事・図解PDFの3つの成果物
1日・1週間にかかる時間、動画の本数	＋	紹介講座で伝えている。ページにも足せる
Claude有料プランの金額	△	必要なことはページ下部とFAQに。金額は「公式サイトで確認」
時差・海外から受けられるか	△	「好きな時間に見られる」はあるが、海外・時差には触れていない
質問のしかた	△	Slackで24時間質問できる。ただしページ下部の「アカデミーとは」の中
どの課題に添削があるか	△	FAQの中に、Week2のnote記事だけと書かれている
Slackの使い方	＋	使い道は書いてある。慣れていない人向けの説明を足せる
仕事・収入にどうつながるか	△	「発注を増やすためのポートフォリオ」はあるが、仕事の例はない

○＝はっきり書いてある　△＝書いてあるが、一部だけ・見つけにくい場所にある　＋＝これから足せる

受講生の声は私1人分です。ほかの受講生も同じとは限りません。

2 似たサービスとの違い

非エンジニア向けのClaude Code講座7つの公開ページと比べました（2026年11月13日時点、受講生の私が調べた範囲）。

講座	値段（税込）	期間・形式	質問・添削
この講座	39,600円	約3週間／動画＋Slack	メンターに24時間質問、note記事に添削
講座A	約3万円	動画 約3時間20分／期限なし	動画内の質問フォーム
講座B	約4万円	2時間／ライブ講習	その場で質問
講座C	無料	4日間／夜のライブ	課題提出で特典
講座D ※	月額 約1.6万円	目安3か月／動画＋週1ライブ	メンター、AIチューター、公開添削
講座E ※	約25万円	3か月／オンライン	週次の会議、チャット相談
講座F	生放送は無料	約59分／生放送・録画	生放送のときのみ

ほかの講座の名前は伏せ、値段はおおよその額にしています。※ 公式の講座ページは直接確認できず、比較記事・プレスリリースの情報です。値段は変わることがあります。どの講座もClaudeの有料プランは別に必要です。

受講生の私から見た、この講座の強み

- **公開できる成果物が3つ**（ポートフォリオサイト・図解PDF・note記事）。受講後、そのまま実績になります。
- **4万円以下・約3週間で、メンターに24時間質問できる。**私が調べた範囲では、同じくらいの値段の講座に、ここまでの伴走は見当たりませんでした。
- **ポートフォリオを公開して仕事につなげる**という出口が、講座の中に用意されています。

ほかの講座のページで、参考になる見せ方

見せ方	どこがしているか	この講座のページ
時間の目安・動画の合計時間	講座D、講座A	紹介講座で伝えている。ページにも足せる
有料プランの金額（月20ドル〜）	講座C、講座A	「公式サイトで確認」。金額の目安を足せる
参加者・受講生の声をページ内に並べる	講座C	note記事3件へのリンク
時差・海外からの受講	どこも書いていない	書けば違いになる

ポイント：強み（24時間質問・成果物3つ）は、すでにそろっています。ページの上のほうで見せると、さらに伝わります。また、「時間」「費用」の目安を足すと、ほかの講座と並べて見られたときにも安心してもらいやすくなります。

3 選んだ改善案

1・2ページの内容から、ページで改善できそうな点を**10個**洗い出しました。その中から、**効果が大きく、受講生の私が担当できる5つ**を選び、この資料でご提案します。

10個の改善案	このご提案：5つ	残りの5つ
ページ・似たサービス・受講生の体験を見比べて洗い出し	効果が大きく、私が担当できるもの（提案1〜5）	運営の方のご判断が中心になるもの（6ページに一覧：A〜E）

提案1 紹介講座で伝えている「時間・費用の目安」をページに書く

1日・1週間にかかる時間、週ごとの課題の量、動画の本数と合計時間、Claude有料プランの金額を、一つの枠にまとめて書きます。**いちばんおすすめの案です。**

効果：大 | 担当：できる

提案2 「24時間質問」「添削」をページの上へ

どの課題に添削があるかも、はっきり書きます。

効果：中 | 担当：できる

提案3 Slackの「はじめてガイド」

Slackに慣れていない人向けに1〜2枚でまとめます。

効果：中 | 担当：できる

提案4 「時差・海外からでもOK」を書く

海外から受けた受講生の声を添えます。

効果：中 | 担当：できる

提案5 受講後の道すじと作品例を見せる

成果物から仕事への流れと、作品例を載せます。

効果：大 | 担当：一部できる

この5つを選んだ理由

- **申し込みの決め手と不安への答えは、今は紹介講座で伝えている。**ページにも載せると、紹介講座に出ていない方にも届きます。
- **材料は受講生の私が集められる。**実際にかかった時間や課題の量、つまずいた点は、受講中の私が記録できます。運営の方のお手間をあまり取りません。
- **同じ材料で5つまとめて作れる。**受講記録・ガイダンス・FAQ・ページの文を突き合わせる作業は共通です。
- **提案5は一部だけ。**私の成果物と体験記はお出しできます。仕事の例は、運営の方のデータと組み合わせる必要があります。

効果の大・中・小は見込みで、申し込み数などの数字をお約束するものではありません。

4 課題と変えること

選んだ5つの案について、今の課題と、ページで変えることをまとめました。

提案	課題（今のページ）	変えること
①	時間の目安、週ごとの課題の量、動画の本数・長さ、Claude有料プランの金額は、今は紹介講座で伝えている。不安の一つ「ついていけるか」への答えも、紹介講座で伝えている。ページにも載せると、紹介講座に出ていない方にも届く。	「1日・1週間の時間の目安」「Week1・Week2の課題の量」「動画の本数と合計時間」「Claude Pro（月20ドル〜）が別に必要」を一つの枠にまとめて書く。 時間の目安は、運営の方にご確認いただいた数字で書きます。
②	Slackで24時間質問できることは、ページ下部の「アカデミーとは」に書いてある。添削はFAQの中にWeek2だけと書いてあり、受講生の私は、Week1に添削がないことに気づかずにいた。上のほうにまとめると、さらに伝わる。	サポートの内容をページの上のほうに一つの枠で見せる。「どの課題に添削があるか」も書く。
③	Slackに慣れていない方向けの使い方の説明を、これから足せる。受講生の私はSlackに慣れておらず、ほかの人の質問を追いきれないことがあった。	「最初に見るところ」「全部読まなくて大丈夫」「質問の書き方の例」を1〜2枚のガイドにまとめる。ページにも「使い方は最初にご案内します」と一言書く。
④	「好きな時間に見られる」と書いてある。海外・時差のことも一言足すと、受講生の私の決め手の一つだった点が伝わる。	「全部動画なので、時差があっても自分の時間で進められる」と書き、海外から受けた受講生の声を添える。
⑤	講座ページには「発注を増やすためのポートフォリオ」とあり、仕事につなげることも講座の目的の一つと読める。一方で、ページでは「ツールが使えるようになる」ところまでに見える。受講生の私も、仕事や収入とのつながりはイメージせずに申し込んでいた。	「ポートフォリオを公開 → クラウドワークスで応募できる仕事の例」という流れと、修了生の作品画面を載せる。

実際に提案するときに、運営の方に判断をお願いしたいこと

- 提案1：1日・1週間の時間の目安として、どの数字を載せるか
- 提案5：修了生の作品や名前を載せてよいか、仕事の例をどう出すか
- どの案も、ページへの反映（デザイン・公開の作業）をどなたが行うか

5 期待できる変化

提案	期待できる変化	効果
①	紹介講座に出ていない方も、ページだけで「自分にもできそうか」「全部でいくらかかるか」を判断しやすくなる。	大
②	「ついていけるか」という不安が和らぐ。申し込み後の「思っていたのと違う」が減る。	中
③	Slackに慣れていない方の不安が減り、受講中も質問しやすくなる。	中
④	海外在住の日本人など、「自分は対象外かも」と思っている方に届く。届く人数は限られる。	中
⑤	受講後の姿が具体的に浮かび、「投資する理由」が伝わりやすくなる。	大

いずれも見込みです。数字の変化をお約束するものではありません。

6 私ができること

お引き受けできること	対象の提案	もとになる経験
受講中に、実際にかかった時間・週ごとの課題の量・動画の本数を記録してまとめる	①	現在この講座を受講中
ページ・FAQ・ガイダンス・紹介講座の内容を突き合わせ、抜けや食い違いを一覧にする	① ②	1996年から経理を担当。契約や納品書と請求書を照合し、請求漏れを見つけてきた
ページに載せる文の案（時間・費用の枠、サポートの枠、時差の一文）を書く	① ② ④	受講生の立場で、何が知りたかったかが分かる
海外から受けた受講生として、体験談を書く	④	日本と時差のある海外から受講中
Slackの「はじめてガイド」を1〜2枚の資料にまとめる	③	自分がSlackでつまずいた。イベントで発表用のスライドを作った経験がある
自分の成果物（ポートフォリオ・note記事・図解）を作品例としてお出しする	⑤	受講中に作成

進め方

① 運営の方と、載せる数字・確認事項をすり合わせる → ② 私が記録・突き合わせ・文案をまとめる → ③ 運営の方に見ていただき、直してからページへ

> 使う人の立場から改善点を見つけて、作る人に伝えることは、社内の業務システム（FileMaker）でふだんしていることです。ページの仕組みやデザインの作業そのものは、運営の方にお願いする形を考えています。

参考 ほかの改善案（今回は選ばなかったもの）

10個の改善案のうち、提案1〜5以外の5つです。効果が見込める一方で、運営の方のご判断や、運営の方だけがお持ちの情報が必要なため、今回は選びませんでした。

	改善案	効果	運営の方のご判断	私ができる部分
A	受付停止中でも「次の開講の目安」と「お知らせを受け取る（LINE）」を最初の画面に置く	大	開講時期の目安を出すか	案内の文案・置き場所の案
B	無料の紹介講座（説明会）への入口をページに置く。難しければ録画や短い講師紹介の動画を置く	大	紹介講座の開催・録画の公開、講師のお時間や撮影の費用	紹介講座の要点まとめ・告知文・案内スライド
C	この講座ならではの強み（講座のつくり方の考え方など）を、運営の方に確かめたうえでページに書く	中	どこまで公開するか、ほかの講座と比べる言い方を使うか	文案の下書き
D	支払い方法・割引の条件・返金とキャンセルの決まりを一つの枠にまとめて書く	中	割引を出すか・その条件、分割払いや返金の決まり	経理の経験から、説明で抜けやすい点の洗い出しと文案
E	「この講座の」受講者数・修了者数などを載せる	小	どの数字を公開するか	なし（データは運営の方だけがお持ち）

実際に提案するときに、確かめたいこと

- 時間の目安（1日・1週間）は、運営の方にご確認いただいた数字で書きたいと考えています。
- ヒアリングで伺った内容のうち、ページや資料に使ってよい範囲を、お話しして確かめさせてください。
- ほかの講座の値段などは変わることがあるため、ページに使う前に公式の情報で確かめ直します。

この資料の情報は、2026年11月13日に確認した講座ページ・ほかの講座の公開ページ、講座の課題として行ったヒアリング、受講生（私）の体験をもとにしています。ヒアリングで伺った、公開されていない内容は、このサンプルには入れていません。講座の練習として作ったもので、クラウドワークスアカデミーの公式の資料ではありません。